



住みたい街 No.1を目指します

辻村きみこの 活動報告 第4号

自由民主党浜松議員控室 〒430-8653 浜松市中央区元城町 103-2 ☎053-457-2495 FAX：053-453-2464

日頃より大変お世話になっております。新年度を迎えるといよいよ最終任期となります。この3年間は地域そして市域全体も見据え市民の皆様にとって住みよい街にするため、さまざまな課題と向き合ってきました。令和7年度は会派の事務局を務めさせていただきました。近年の物価高騰を受け市民の皆様の暮らしも大変厳しい中、国からの重点支援地方交付金を有効に活用するため会派内で議論し、会派からの提案が昨年の補正予算と新年度予算に盛り込まれました。

市町村合併から20周年を迎え、市内では様々な記念事業が行われました。また議会では行政区再編に伴う議員定数の見直しなど、令和9年の改選期では浜松市議会も大きな動きがあるのではないかと考えられます。目の前の課題と向き合いながら皆様の声に耳を傾け、引き続き頑張っていきたいと思いますので、これからもお力添えいただきますよう、お願いいたします。



11月定例会にて一般質問に登壇

Q 竹林対策と竹材利用の仕組みについて

日本の森林面積（R4年現在）は約2500万ha、そのうち竹林面積は約17万5000haであり、森林全体の約0.7%にあたる。今後、所有者の高齢化により、さらに放置竹林が増えることも考えられる。放置竹林は景観の悪化や、豪雨災害による地滑り、隣接する農地や住宅への侵食など地域にとって深刻な問題である。竹林においても管理体制が重要であると考え、

本市の竹林対策と、竹材を資源として利用できる仕組みがないか伺う。



竹いかだ水上自転車体験

A

放置竹林は隣地・道路など周辺環境への侵入や土砂災害発生などのリスクがあり、社会的な課題として認識している。竹林整備は、所有者による整備が基本であるが困難なケースが多い中、森林づくり県民税を財源とした森林の力再生事業などを中心に進められてきた。また本市ではこれまで調理等の竹パウダーの開発や、地域産のメンマの商品開発に対する支援により商品化された例もあり、市内民間企業の取り組みではチップ化した竹を様々な形で利用されている。多くの市民に竹の特徴や魅力を知っていただく事が重要であり、新たな竹材需要の創出につなげます。

Q 空き園舎や空き校舎の利活用について

空き園舎や校舎等の利活用は地域資源の有効活用や地域活性化の観点から全国で注目されている。文部科学省の令和6年度廃校施設活用状況実態調査の結果によると、平成16年度から令和5年度までの廃校の延べ数は8850校であった。今後本市においても少子化により幼稚園や小・中学校の統廃合され、空き園舎や校舎が増えてくると考えるが、中山間地域以外においても事業者等が利用したい場合、条件に合えば利用できるような考えはないか伺う。



A

市の規定では空き園舎や校舎等の遊休財産は、国、他の地方公共団体又は公共的な団体において、公用若しくは公共用又は公益事業を行う場合に貸付できることとなっている。今後、市全体において行政目的が無くなり、遊休財産となる幼稚園、学校などの施設が増加することが予想され、中山間地域の貸付実績からも、事業者等の自由な発想や創意工夫を求めることが有効活用につながると考える。こうしたことから中山間地域以外の遊休財産についても、事業者等を公募し、利活用することができるよう、新たな制度を検討する。

Q 青春はままつ応援隊『アオハル隊』について

本市では平成30年度から地域の歴史や文化、自然環境等の魅力をターゲットとし、魅力の掘り起こしや情報発信に情熱を注いでいる高校生の団体を「青春はままつ応援隊」通称アオハル隊として認定している。若者たちの活動にスポットを当て、行政も一緒に

活動の現状と応援を充実するための今後の取組について伺う。



アオハル隊とサップでゴミ拾い活動に参加

A

令和7年度は7団体をアオハル隊として認定。6月の認定式では地域の食材を活用した商品開発や浜名湖の環境保全活動など各高校の発表を通じて経験や学びを共有した。またアオハル隊の活動を市公式ホームページへも掲載している。今後はアオハル隊が企業をはじめ、市民活動団体や大学生など多様な主体と交流を図ることができるよう、アオハル隊の認定式を市民に開かれた場所で行うことを検討する。



Q そのほかにも以下のような質問をいたしました

- ・スポーツを核としたにぎわいあるまちづくりについて。
- ・多文化共生社会の実現に向けて。
- ・若年層への健康啓発とプレコンセプションケアの推進について。

環境経済委員会より

特定外来生物「ヌートリア」

令和7年9月より特定外来生物「ヌートリア」市民捕獲従事者制度導入。市内に約5000頭以上生息するヌートリアの防除を実施するため、農業者に限らず被害を受けている方を対象に「わな」の貸出を行う。

申込から登録までスマホで完結⇒講習会はいつでも受講可能（自宅で動画を視聴）
詳しくは環境部環境政策課まで。



特定外来生物「ヌートリア」

神原排水路調整池が完成 2月18日見学会開催

【貯留容量20,280 m³ 深さ1.5m～2.5m】

近年の豪雨により神原町、大久保町で冠水被害が頻発化しており、地域から要望しておりました調整池が神原浄水場内に完成、25mプール47杯分に相当する。

見学会には地元住民と神久呂小学校5年生合わせ約

150人が参加、ドローンによる記念撮影会も行われた。



神原排水路調整池完成見学会



浜松市役所ロビーに展示されたエヴァ初号機

辻村きみこ日々の活動 Instagramにて発信中



環境経済委員会



デフリンピックブラジル選手団の事前合宿



市長へ補正予算緊急提言



デコ活チャレンジ大賞受賞式



中央卸売市場 初セリ式



紙パックリサイクル活動（えこはまにて）

雑誌が回収啓発キャンペーン



この印刷物が不要になれば「雑誌がみ」として古紙回収へ。

Instagramにて日々の活動発信中↓



tuzikimi



→ 浜松市 HP 浜松市議会より議会や委員会での発言が閲覧できます。